

レポート・論文作成のマナーと 文献の利用方法

上越教育大学附属図書館

講習内容

1. はじめに
2. 心構え
3. レポート・論文作成の段取り
4. 文献検索（先行研究を探す）
5. 引用の仕方
6. 参考文献リストの作り方
7. まとめ

1. はじめに

この講習では、以下のことが分かるようになります。

- 文献の探し方
- 引用の方法
- 参考文献リストの作り方

1. はじめに

論文のテーマ設定や内容、
文章の書き方等については
取扱いません。

希望があれば、別の機会を
設けます。ご相談ください。

今日の講習内容

1. はじめに
2. 心構え
3. レポート・論文作成の段取り
4. 文献検索（先行研究を探す）
5. 引用の仕方
6. 参考文献リストの作り方
7. まとめ

2. 心構え

論文は、先行研究を調べ、引用しながら、作成しよう。

情報源（出典）を示さないと
剽窃（盗作，ドロボウ）に
なってしまいます。

2. 心構え

論文は、先行研究を調べ、引用しながら、作成しよう。

「自分の言葉と他者の言葉を区別することは、他者の研究に敬意を表すこと」

(井下千以子. 思考を鍛えるレポート・論文作成法. 第2版.

東京: 慶應義塾大学出版会, 2014, p.58)

2. 心構え

**論文は、先行研究を調べ、
引用しながら、作成しよう。**

「剽窃は自分を高めるチャンスを自ら放棄する愚かな行為だ。誇り高く生きたいなら、決して行ってはならない」

(戸田山和久. 論文の教室. 新版. 東京: NHK出版, 2012, p.36)

講習内容

1. はじめに
2. 心構え
3. レポート・論文作成の段取り
4. 文献検索（先行研究を探す）
5. 引用の仕方
6. 参考文献リストの作り方
7. まとめ

3. レポート・論文作成の段取り

テーマ設定 (レポートはほとんどテーマが決まっている。)

データ収集 ([文献検索](#) [先行研究を探す] , 実験, 調査等)

組み立て (アウトライン)

執筆 (序論, 本論, 結論 [[引用](#)])

点検 ([参考文献リスト](#), チェックリスト)

3. レポート・論文作成の段取り

□ レポート・論文の構成 (1)

1. 題目 (メインタイトル, サブタイトル)
2. 要約 (概要, 抄録)
3. 序論 (はじめに)
4. 本論
5. 結論 (おわりに)

3. レポート・論文作成の段取り

□ レポート・論文の構成 (2)

6. 注

7. 文献表 (引用・参考文献リスト)

8. 付録

9. 謝辞

(井下千以子. 思考を鍛えるレポート・論文作成法. 第2版.

東京: 慶應義塾大学出版会, 2014, pp.50-51, p.64)

の図表を元に作成した。

今日の講習内容

1. はじめに
2. 心構え
3. レポート・論文作成の段取り
4. 文献検索（先行研究を探す）
5. 引用の仕方
6. 参考文献リストの作り方
7. まとめ

4. 文献検索（先行研究を探す）

実際に検索してみますので、
研究（レポート）のキーワードを
教えてください。（1分）

4. 文献検索（先行研究を探す）

□ 図書館の本や雑誌を探す。

「20分でわかるOPAC」を

見てね。

<http://www.lib.juen.ac.jp/research/pathfinder/20minOPAC.pdf>

4. 文献検索（先行研究を探す）

□ 日本語の雑誌論文を探す。

「20分でわかるCiNii」を

見てね。

<http://www.lib.juen.ac.jp/research/pathfinder/20min-CiNii.pdf>

4. 文献検索（先行研究を探す）

□ 教育分野の論文を探す。

「論文の探し方：教育分野の論文を中心に」を見てね。

(<http://www.lib.juen.ac.jp/research/pathfinder/kyoiku-ronbun.pdf>)

講習内容

1. はじめに
2. 心構え
3. レポート・論文作成の段取り
4. 文献検索（先行研究を探す）
5. 引用の仕方
6. 参考文献リストの作り方
7. まとめ

5. 引用の仕方

□ 引用とは…

著作権法 第三十二条

公表された著作物は、引用して利用することができる。この場合において、その引用は、公正な慣行に合致するものであり、かつ、報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行なわれるものでなければならない。

= 自分の著作物に他人の著作物を利用すること。

ルールを守って、必要な部分だけ引用できます。

5. 引用の仕方

□ 引用のルールとは…

1. 「引用の必然性があること」
2. 「自分の文章が主で，引用が従であること」
3. 「自分の文章と他人の文章を括弧でくくるなどして，区別をすること」

(藤田節子. レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方.
東京: 日外アソシエーツ, 2009, p.3.)

5. 引用の仕方

□ 直接引用

著者の文章を全く同じに書く。

- 短い場合, 「」でくる。
- 長い場合,
行頭から2-3文字下げで書く。

5. 引用の仕方

□ 直接引用の例

- 戸田山（2012）は「[論文には]「問い＋答え＋論証」以外のことは書いてはいけない」と述べている。
- レポート・卒論について「感想文や作文ではない」と述べている（酒井, 2007, p.3）。

5. 引用の仕方

□ 間接引用

著者の文章を要約して書く。

□ 例

山口（2013）は、要約を作成するときは原文を見ないで書くことが必要であると述べている。

5. 引用の仕方

- 引用にチャレンジ（5分）
- お手元にある図書から、
直接引用（短い・長い）、
間接引用を試してみましょう。

講習内容

1. はじめに
2. 心構え
3. レポート・論文作成の段取り
4. 文献検索（先行研究を探す）
5. 引用の仕方
6. 参考文献リストの作り方
7. まとめ

6. 参考文献リストの作り方

[注意]

- 参考文献の書き方には、たくさんの種類があります。
- 学問分野や発表するメディアによって、異なる慣習があります。
- 学術雑誌に論文を投稿する場合などには、必ず、その雑誌で採用されているルールを確認しましょう。

6. 参考文献リストの作り方

□ 参考文献の書き方例 (APA)

戸田山和久. (2012). 論文の教室 (新版). 東京: NHK出版.

(Chicago)

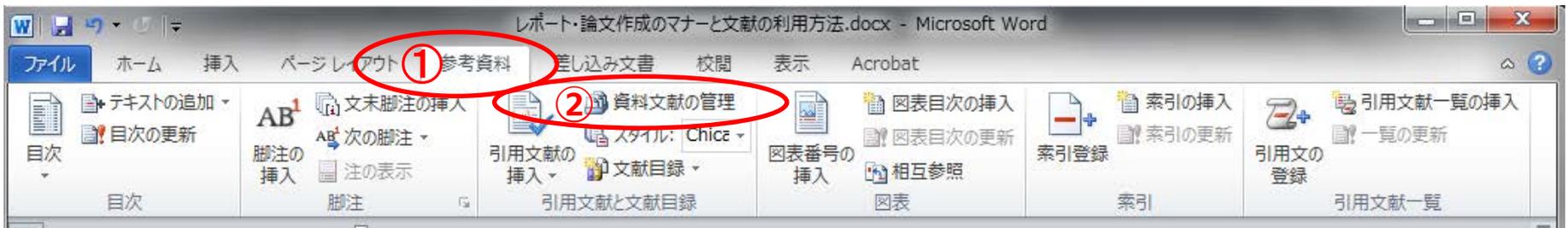
戸田山和久. 論文の教室. 新版. 東京: NHK出版, 2012.

(SIST02)

戸田山和久論文の教室. 東京, NHK出版, 新版, 2012.

6. 参考文献リストの作り方

Microsoft Word2010の例



①参考文献

②資料文献の管理

6. 参考文献リストの作り方

Microsoft Word2010の例



③ 作成

6. 参考文献リストの作り方

Microsoft Word2010の例

資料文献の作成

資料文献の種類(S) 書籍のセクション 言語(L) 既定

ISO 690: 参照番号 の文献目録フィールド

執筆者 戸田山, 和久! 編集

執筆者 (組織/団体)

タイトル 論文の教室

書籍の著者 戸田山和久 編集

書籍のタイトル 論文の教室

年 2012

市区町村 東京

発行元 NHK出版

すべての文献情報フィールドを表示する(A)

タグ名(T) 例: 佐藤直樹

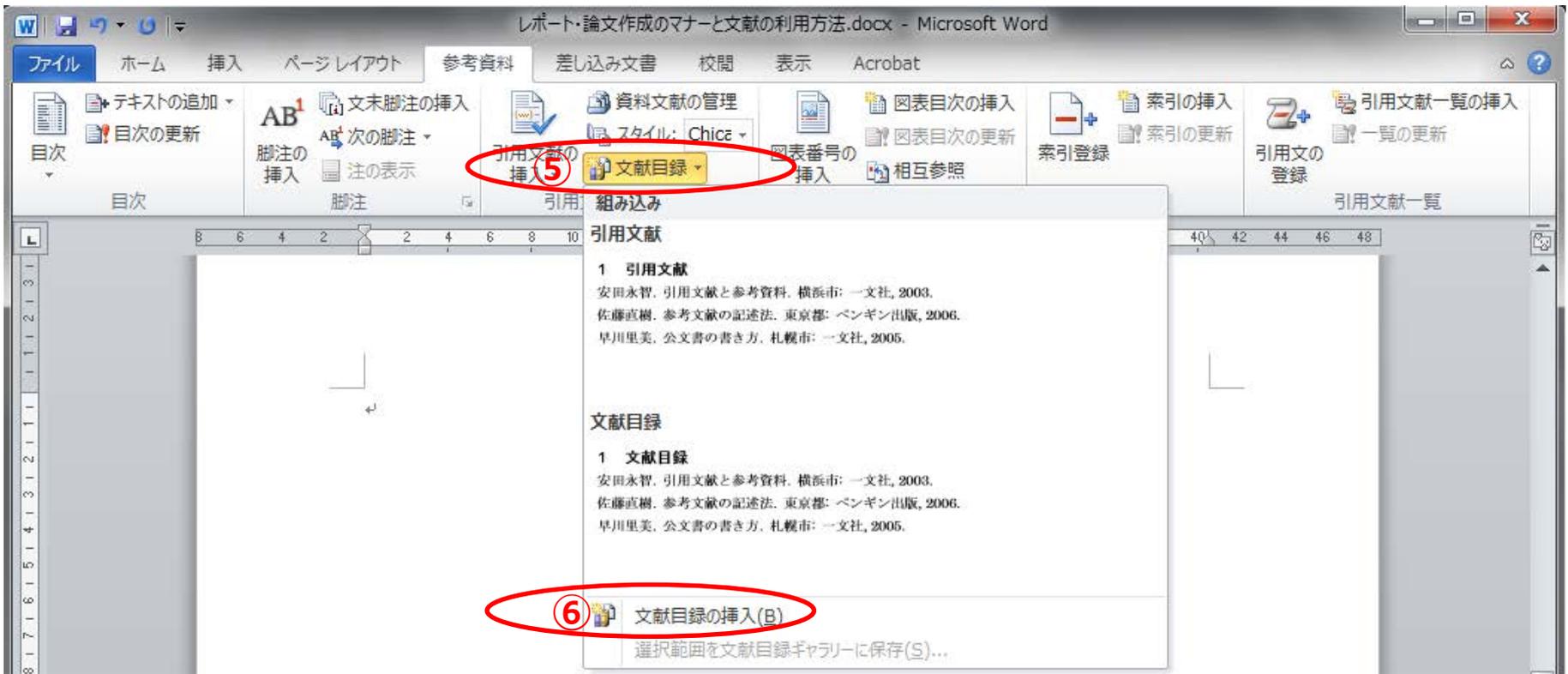
戸田山12

OK キャンセル

④ 必要事項入力し, OK。

6. 参考文献リストの作り方

Microsoft Word2010の例



⑤文献目録 ⑥文献目録の挿入

6. 参考文献リストの作り方

➤ 参考文献リストの作成に
チャレンジ（5分）

- お手元にある図書をAPAスタイルで、書いてみましょう。

講習内容

1. はじめに
2. 心構え
3. レポート・論文作成の段取り
4. 文献検索（先行研究を探す）
5. 引用の仕方
6. 参考文献リストの作り方
7. まとめ

7. まとめ

論文は、先行研究を調べ、引用しながら、作成しよう。

引用・参考文献（1）

1. 井下千以子. 思考を鍛えるレポート・論文作成法. 第2版. 東京: 慶應義塾大学出版会, 2014.
2. 戸田山和久. 論文の教室. 新版. 東京: NHK出版, 2012.
3. 藤田節子. レポート・論文作成のための引用・参考文献の書き方. 東京: 日外アソシエーツ, 2009.
4. 酒井聡樹. これからレポート・卒論を書く若者のために. 東京: 共立出版, 2007.

引用・参考文献 (2)

5. 山口裕之. コピペと言われないレポートの書き方教室. 東京: 新曜社, 2013.
6. 神谷幸宏. Wordによる論文・技術文書・レポート作成術. 東京: コロナ社, 2014.
7. 慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員. 学生による学生のためのダメレポート脱出法. 東京: 慶應義塾大学出版会, 2014.

引用・参考文献 (3)

8. 村田輝. 論文作成のマナーと文献の利用方法 : 教育実践研究論文を中心に. 2014年12月8日. <http://hdl.handle.net/10513/2753> [アクセス日: 2015年12月10日].

ご静聴， ありがとうございます。

[連絡先]

上越教育大学附属図書館

Mail : gservice@juen.ac.jp

Tel : 025-521-3606